平成30年8月7日(火)

平成30年度第1回松戸市病院事業経営計画推進懇話会

松戸市病院事業 経営計画 第 2 次(平成 29~32 年度) 《松戸市病院事業改革プラン》 平成 29 年度末実績

《東松戸病院》

《目次》

		項目	各施策の推進責任者	頁
- 3	業績(平成29年度末実績)			1
	数値目標(平成29年度末実績)			2
	1. 地域に根差した病院の役割と理	1-(1)予防医療の活動	診療局長	3
各	解を深める	1-(2)患者満足度の向上	QI向上委員会委員長	3
		1-(3)広報活動(地域包括ケアシステムの役割など)	保健福祉医療局長	4
施	2. 医療従事者がスキルアップでき	2-(1)医療従事者等による事例研究・発表・意見交換	診療局長	4
		2-(2)各種研修会への参加	教育研究局長	5
_	3. 働きやすい環境づくり	3-(1)ワークライフバランスの向上	東松戸病院総務課長	5
の		3-(2)病床数の見直し	診療局長	5
実	4. 収益性を考慮した病床管理	4-(1)入院基本料の高い病床への再編	総合ベッドコントロール検討チーム委員長	6
≠		4-(2)効率の良い病床運用	総合ベッドコントロール検討チーム委員長	6
傾	5. コスト意識の向上(医療機器	5-(1)積極的な医療機器の活用	診療局長	6
	等、病院資源の有効活用)	5-(2)在庫管理	東松戸病院総務課長	6

業績(平成29年度末実績)

〇収益的収支 (税抜き)

(単位:
百万
畄

		年度計画(A)	H29年度 年度末実績 (速報値) ^(B)	実績と計画の差 (B)-(A)	H28年度 年度末実績(C)
医業収益	双 益	1,972	1, 787		△ 185
	入院収益	1,560	1, 458		\triangle 102
	外来収益	299	190		△ 109
	その他	113	139		26
出基業到	青用	2, 406	2, 334		△ 72
	給与費	1,665	1, 665		0
	材料費	126	110		△ 16
	経費	499	452		△ 47
	減価償却費	112	104		△ 8
	その他	4	3		\triangle 1
医業損益	員益	\triangle 434	△ 547		\triangle 113
医業績	医業外収益	514	517		3
医業/	医業外費用	79	68		\triangle 11
経常損益	員益	1	△ 98		\triangle 99
特別利益	当掛	1	0		\triangle 1
特別損失	員失	2	0		\triangle 2
当期	当期純損益	0	△ 98		△ 98

〇資本的収支 (税込み)

			H29年度		H28年度	÷
		年度計画 (A)	年度末実績 (速報値) ^(B)	実績と計画の差 (B)-(A)	年度末実績(C)	則年度美績との差 (B)-(C)
資本的収入	人对心	320	305	△ 15	308	△ 3
	企業債	20	5	△ 15	19	\triangle 14
	県支出金	0	0	0	0	0
	出資金	300	300	0	289	11
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
資本的支出	勺支出	492	461	△ 31	458	3
	建設改良費	33	7	\triangle 26	21	\triangle 14
	償還金	454	454	0	437	17
	その街	51	0	△ 5	0	0
差引不足額	下足額	△ 172	△ 156	16	△ 150	∂ 6

〇一般会計繰入金

(単位:百万円)

		H29年度		H28年度	} }
	年度計画 (A)	年度末実績 (速報値) ^(B)	実績と計画の差 (B)-(A)	年度末実績(C)	則年及美績との差 (B)-(C)
収益的収支	291	291	0	643	\triangle 352
資本的収支	300	300	0	289	11
合計	591	591	0	932	△ 341

[※]上記の数値は、算出に当たって端数処理をしています。

数値目標(平成29年度末実績)

			平成29年	 度		平成28年度	並左座忠徳上の 美
項目		年間目標(A)	年度末実績 (速報値)	実績と目標の差 (B)-(A)	達成状況	年度末実績(C)	前年度実績との差 (B)-(C)
医業収支比率	(%)	81. 9	76. 6	△ 5.3	×	74.8	1.8
経常収支比率	(%)	101. 7	95. 9	△ 5.8	×	108. 5	△ 12.6
職員給与費比率	(%)	84. 5	93. 2	8. 7	×	94. 6	△ 1.4
材料費比率	(%)	6. 4	6. 2	△ 0.2	0	6. 3	△ 0.1
病床稼働率	(%)	90. 1	91.0	0.9	0	86.8	4. 2
(稼動病床数)	(床)	(162)	(162)		O	(162)	
入院 一日平均患者数	(人)	146	147. 4	1.4	0	140. 6	6.8
入院 診療単価	(円)	29, 273	27, 100	△ 2,173	×	27, 493	△ 393
外来 一日平均患者数	(人)	150	94. 2	△ 55.8	×	95. 7	△ 1.5
外来 診療単価	(円)	8, 174	8, 273	99	0	8, 144	129
平均在院日数(回復期リハ)	(日)	90	74. 5	△ 15.5	0	79. 4	△ 4.9
平均在院日数(地域包括)	(日)	60	41. 2	△ 18.8	0	40. 1	1.1
平均在院日数(緩和ケア)	(日)	30	33. 6	3.6	×	29. 9	3. 7
平均在院日数(一般)	(日)	60	59. 7	△ 0.3	0	59. 0	0.7
患者満足度	(%)	90	94. 6	4.6	0	90. 7	3. 9

[※]上記の数値は、算出に当たって端数処理をしています。

松戸市病院事業 経営計画 (第2次)(平成29〜32年度)《松戸市病院事業改革プラン》 平成29年度末実績 《東松戸病院》

《 <i>宋仏尸枫阮》</i>	の体系	推進責任者	取組項目	日堙。	実績等
1. 地域に根差し	1-(1)予防医療の		・ロコモ外来、人間ドック、脳		大恨守
た病院の役割と	活動	○砂炼用文	ドック、予防接種の件数の増加	《年度数値目標》 <u>ロコモ外来の外来件数:60件</u>	
理解を深める			を図り、地域に根差した病院の	<u>人間ドックの検査件数:115件</u>	
			役割を深める。	<u>脳ドックの検査件数:42件</u>	
				予防接種の件数:528件	
				取り組んだこと・実績・結果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
				29年度末(12箇月間) 28年度末(12箇月間) 差 □□モ外来の外来件数 12 件 11 件 1 件 人間ドックの検査件数 113 件 131 件 △ 18 件 脳ドックの検査件数 4 件 28 件 △ 24 件 予防接種の件数 266 件 395 件 △ 129 件	《ロコモ外来の外来件数》 骨格や筋肉の衰え等により運動機能が低下する状態を「ロコモ」(運動器症候群)といい、適切に対処することが健康長寿のためにとても重要なことである。ロコモ外来の認知度を高めるためにも、さらなる広報活動を図る必要がある。 《人間ドックの検査件数》 放射線女性技師及び眼科医師の採用を含め、充実した体制を図ることが課題となっている。 《脳ドックの検査件数》 施設(団体)側の都合により、定期的な予約が無くなったことで、件数が大幅に減少している。検査実施の継続性を含めて検討する必要がある。
				200 FT	《予防接種の件数》 平成29年度はワクチン不足の影響もあり件数は伸びていないが、流通状況を確認しながら対応する。
1. 地域に根差し	1-(2)患者満足度		・地域に根差した病院として、	《年度数值目標》 <u>患者満足度:90%</u>	
た病院の役割と 理解を深める	の向上	会委員長	地域住民をはじめとした患者か ら選ばれるよう患者満足度の向	取り組んだこと・実績・結果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
			上を図る。		前年度と比較しても満足度は向上しており、今後も90%以
				患者満足度	上を維持できるように努める。
				29年度末(12箇月間) 28年度末(12箇月間) 差	
				94.6 % 90.7 % 3.9 %	

松戸市病院事業 経営計画(第2次)(平成29〜32年度)《松戸市病院事業改革プラン》 平成29年度末実績 《東松戸病院》

施策(の体系	推進責任者	取組項目	目標・	実績等
1. 地域に根差し た病院の役割と 理解を深める	1-(3) 広報活動 (地域包括ケア システムの役割 など)	◎保健福祉医療 局長 東松戸病 院総務課長	・地域に根差した病院として、 地域包括ケアシステムの役割に ついて、健康塾、市民公開講 座、出前講座、地域懇談会(医 師・認定看護師等)を通して、 地域住民への理解を深める。	《年度数値目標》 <u>健康塾実施回数:9回</u> 市民公開講座実施回数:1回 出前講座実施回数:4回 地域懇談会実施回数:4回	
				取り組んだこと・実績・結果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
				29年度末(12箇月間) 28年度末(12箇月間) 差 健康塾実施回数	《健康塾実施回数》 概ね月1回開催を目標に、広報まつどを活用した参加者募 集の他、外来等で病院を訪れた患者や市民等にも広く声か けをし参加者数の拡充を図る。
				10 回 9 回 1 回 市民公開講座実施回数	《市民公開講座実施回数》 原則年1回実施しているが、市民ニーズを取り入れながら 院内に組織した広報委員会で検討し、魅力的な講座を実施
				1 回 1 回 0 回 出前講座実施回数	していきたい。なお、平成30年度は開院25周年記念として外部講師を招いた講座の開催を検討している。
				8 回 0 回 8 回 地域懇談会実施回数	《出前講座実施回数》 より多くの市民に利用していただけるよう、講座内容を見 直し内容の充実を図る。
				4 🗆 1 🗎 3 🖻	《地域懇談会実施回数》 東部地区に根ざした医療機関として、地域の要請があれば 可能な限り出向くことで当病院をより理解していただける よう努める。
2. 医療従事者がスキルアップで	2-(1)医療従事者 等による事例研	◎診療局長 診療技術局長 薬	・学会・研究会等における発 表、院内メディカルカンファレ	《年度数値目標》 学会・研究会等における発表(各局):2回	
きる環境づくり	究・発表・意見 交換	局長 看護局長	ンス、外部講師による講演会を 通して、医療従事者等のスキル	院内メディカルカンファレンス:1回	
	文换	長 医療安全局	アップできる環境を整える。	外部講師による講演会:1回	
		長 教育研究局 長 図書学術委		取り組んだこと・実績・結果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
		員会委員長		29年度末(12箇月間) 28年度末(12箇月間) 差 学会・研究会等における発表	《学会・研究会等における発表(各局)》 当院に勤務している認定看護師の取り組みや、他医療機関 に先駆け導入している先進的な医療機器等を内外に積極的 に発表し、当院の存在をPRする。
				6 回 3 回 3 回	
				院内メディカルカンファレンス	《院内メディカルカンファレンス》 当院の医療職の更なる資質向上に向け、院内に組織した図 書学術委員会でテーマを検討し、充実を図る。
				1 🗆 1 🗆 0 🗇	青子州安貞云 () 「 、
				外部講師による講演会	当院が抱える医療や運営上の課題を抽出した上で、それら を解決する為に適した講師を選任し、実施をしていきた
				2 回 1 回 1 回	V.

松戸市病院事業 経営計画 (第2次)(平成29〜32年度)《松戸市病院事業改革プラン》 平成29年度末実績 《東松戸病院》

施策(の体系	推進責任者	取組項目			目標	•実績等
2. 医療従事者がスキルアップで	2-(2)各種研修会 への参加	◎教育研究局長	・専門性の向上を図るため、各 種研修会へ参加し、医療従事者	取	り組んだこと・実績・糸	吉果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
きる環境づくり	17979		の育成に努める。		参加した研修の数(件)	参加者数(人)	限られた予算の範囲内で各種研修会等に参加し、スキル アップに努めていきたい。
				診療局	42	48	
				看護局	10	40	
				診療技術局	4	7	
				薬局	8	11	
				管理局他	12	21	
3. 働きやすい環	3-(1) ワークライ	○事松豆烷贮級	・ワークライフバランスに関す	し、医療従事者と	診療技術局等が各:してのスキルアッ	プを図った。	
3. 働きやりい泉 境づくり	3-(1) ワークフィ フバランスの向		る知識を高めるため、院内会議	《年度数値目標》 <u>ワ</u> 			
	上		において年に1回、研修を行 う。また、各所属において周知	取	り組んだこと・実績・糸	吉果	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み 29年度からの新規研修であり、参加者に分かりやすい資料
			を図る。	ワーク・	ライフバランスに関す	-る研修	の提供と、各所属への周知の徹底をしていきたい。
				29年度末(12箇月間)	28年度末(12箇月間)	差	
				1 回	0 回	1 回	
3. 働きやすい環境づくり	3-(2)病床数の見 直し		・患者にとっての療養環境の向 上だけでなく、医療従事者の労		り組んだこと・実績・糸	-	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み
		病院総務課長	働環境の向上を考慮し、許可病 床数を含めた病床数の見直しを 図る。				計増員せず、現在の人員での改善策を再立案して病院運営審 / 議会に上程し、答申を待つ。

松戸市病院事業 経営計画(第2次)(平成29〜32年度)《松戸市病院事業改革プラン》 平成29年度末実績 《東松戸病院》

施策(の体系	推進責任者	取組項目	目標・	目標·実績等		
4. 収益性を考慮 した病床管理	4-(1)入院基本料 の高い病床への 再編	O 11- II .		高い地域包括ケア病床の増床計画に取組んだ。	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み 費用を最小限に抑えて、収益を上げる手段として、地域包括ケア病床数を20床から60床に増床する案を病院運営審議会に上程し、答申を待つ。		
4. 収益性を考慮 した病床管理	4-(2)効率の良い 病床運用		・収益性を考慮した効率の良い 病床の調整を図るため、在院日 数の確認を月1回行なう。	協議を行っている。	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み ・在院日数が長期化傾向にあるため、介護老人保健施設梨香苑を含めた調整が必要である。 ・平成30年度の診療報酬の改定を受け、施設基準である在院日数の要件が追加される等の外部環境の変化に対応するため、引き続きスムーズな退院や転院・転棟のための協議を行っていく。		
5. コスト意識の 向上(医療機器 等、病院資源の 有効活用)	5-(1)積極的な医 療機器の活用	- 10 MIN TT T	・定期的な検査の実施など、医療機器を活用したフォローアップ体制を構築する。	取り組んだこと・実績・結果 放射線機器の利用状況の報告を行うことにより、有効活用への意識向上を図った。また、放射線検査件数も対前年比で約400件増加した。	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み 検査機器について、医療機関だけではなく一般の方でも分 かりやすい内容で広報活動を行い、使用機会を増やしてい きたい。		
5. コスト意識の 向上(医療機器 等、病院資源の 有効活用)	5-(2)在庫管理	◎東松戸病院総 務課長	・診療材料や消耗品等の使用状 況の把握から在庫の管理を図 る。	取り組んだこと・実績・結果 診療材料は、薬事委員会において各部署からの購入要望書 を受理後、効果や必要性を総合的に検討し購入可否を判断 している。	平成29年度実績を踏まえた平成30年度以降の取組み 薬品や診療材料は、年度末にたな卸しを実施し在庫の管理 を図る。		